

水の安定供給と入曽のまちびらきに向けて

建設環境委員会



建設環境委員会では、今期定例会において付託された議案は6件でした。委員会は4日間開催され、初日と2日目にかけて議案の審査が行われ、2日目と3日目の両日で所管事務調査を1件ずつ行いました。また、4日目は要望指摘事項の取りまとめと採決を行いました。

小・中学校の規模と配置の適正化について調査を実施

文教厚生委員会



文教厚生委員会では、7月20日に閉会中における特定事件として、「小・中学校の規模と配置の適正化について」の調査を行いました。狭山市の教育、児童生徒を取り巻く学校環境については、小・中学校の規模と配置の適正化、特別許可地区を含む通学区域の問題、学校施設の老朽化に伴う対応など、中長期的かつ複合的、全体的な視点で考えていか

閉会中特定事件の調査

議案審査について

◆ 議案第74号

字の区域を変更することについては、狭山工業団地の拡張に伴う柏原鳥之上地区の字界の変更であり、地区内には居住者もなく、地権者が法務局などで行う手続きもないことを確認しました。

◆ 議案第75号

令和2年度狭山市一般会計歳入歳出決算認定は、歳入の使用料及び手数料、国庫支出金、県支出金、財産収入、諸収入、歳出の衛生費、土木費について慎重な審査を行い予算が適切に執行されていることを確認しました。

◆ 議案第79号及び

議案第81号

令和2年度狭山市水道事業会計及び狭山市下水道事業会計における未処分利益剰余金の処分について適切に処理されていることを確認しました。



委員会審査の内容

第3回定例会においては、委員会に付託された市長提出議案10件、請願2件を審査しました。請願についての主な質疑の概要は次の通りです。

◆ 議案第2号

「特定健康診査時における高齢者の聴力検査・検診及び加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設」を求める意見書提出に関する請願

なければならぬ諸課題があり、これらの課題の基軸となる「小・中学校の規模と配置の適正化」に関する市の方針や現在までの取り組みなどについての調査を行い、今後の委員間討議を経て、委員会としての提言などを取りまとめたいと考えています。

Q 公的補助制度というのは、具体的には中度・軽度の難聴の方の補聴器への保険適用ということなのか。
A 将来的には保険適用になつてほしいが、まだ保険適用にはなっていない。補助制度をつくるように、国として制定してほしいとのお願いである。

Q 実際に耳鼻科に行かなくても、一般的な補聴器を売っているお店で聴力検査が無料でできる環境が市内にもいくつもあるが、そういう環境についてのどのような受け止められているのか。
A 店舗には、補聴器の専門技術を持った認定者があまりいない。専門家の方によれば、本当に自分に合った補聴器になつたと思えるには半年ぐらいかかるとのこと、特定健診のときに一緒に聴力検査をして、聞こえが悪いという結果が出たときに、耳鼻科に行くきっかけになる。

◆ 議案第80号及び

議案第82号

令和2年度狭山市水道事業会計決算認定及び狭山市下水道事業会計決算認定については、予算の執行が適正に行われ、健全な経営が維持されていることを確認しました。

所管事務調査の結果



1 水道事業の危機管理体制

狭山市水道ビジョンでは、「安全・安心な水の安定供給」を基本理念として掲げており、災害時などの危機管理能力について調査しました。災害発生前から発生後までの対策が明文化され、応急給水体制や施設の応急復旧についての確認ができました。施設の計画的耐震化も進み、緊急時には全市民の10日間程度の飲料水も確保されることがわかりました。

◆ 議案第3号

入間川小学校特別通学許可区域の廃止に関する経過措置の設置について

Q この請願内容を認めること、請願された3つのマンションの合計39世帯を含む、さらには多くの未就学児の世帯が通うことになつた場合、入間川東小学校側の対応としてはプレハブを造らざるを得なくなるということもあるが、請願者はそれも承知の上だと理解してよいのか。
A PTAや請願に参加している方々からは、まずは、空教室を探していただき、対応できなければプレハブを建ててもいいのではないかという意見が多くあつた。

Q 経過措置はどのぐらいの期間を想定されているのか。
A 6年間は必要と考える。



2 入曽駅周辺整備事業における入曽駅橋上駅舎及び東西自由通路整備の進捗状況

令和5年度末を予定していたまちびらきが、令和6年度末へ、1年遅れる予定となりました。詳細設計の期間が令和4年度末までかかり、工事に2年を要することから遅れが生じています。また、入曽駅橋上駅舎の工事費総額は約37億2千万円となり、7億2千万円の増額見込みとなっておりますが、確定したものではありません。今後の詳細設計により変動します。

委員からは、情報公開のあり方、議会への報告、市民を含め議論を深めてほしいなどの意見が出され、活発な審議が行われました。

